

だけで簡単に枯れるので、耕地の輪作に組入れても安全であるといわれている。前記の諸国では輪作に組入れ、五〜六年位は利用しているようである。

オーストラリアのクイーンズランドでは青酸中毒の危険があるとの理由で一時種子の販売を禁じていたこともあるが、これは実験に先行して農家に普及するのを心配しての措置であったようで、今日では広く自由栽培されているし、その他の諸国ではむしろ、スーダングラスやソルガム程中毒の危険は多くないとさえ言われている。

### 三 わが国における栽培

わが国では、昭和三十五年に、長岡技官がオーストラリアの出張から持ち帰り、農林省長野種畜牧場で栽培したのが最初のようである。ジョンソングラスかスーダングラスの一種と見られていたようで、勿論品種名はわかっていないが、試作したところでは草丈も高く、収量も多い。

農林省中国農業試験場（広島県福山市）では昭和三十七年度からソルガム属作物に関する研究を始め、各国から一五〇にも及ぶ品種系統を集めたが、この中にオーストラリアおよび南ローデシアから送られた五種類のコロンブスグラスが含まれていた。わが国で身元の確かなコロンブスグラスが研究の対象になったのはおそらくこれが最初であろう。

そのうち好成绩を取めた二種と長野種畜牧場からの前記の一種について行なった栽培試験の成績を下表に示そう。



## 新しい飼料作物 コロンブスグラス の解説

長野系は Buntified によく似て *croble* より草丈高くやや晩生である。栽培密度、施肥法を工夫すればもっと増収が望めそうである。

刈り取り回数、刈り取り間隔等は越冬性に大きく影響するものと考えられるが、この場合降霜直前に一回だけ刈り取ったものに比べて、春の萌芽はよくなかった。この点地域性とも併せてさらに検討の必要があるろう。

暖地で、コロンブスグラスの畦間に各作

コロンブスグラスの生草収量 (kg/10a)

品系	種 統	1 番 草		合 計
		8月14日	9月21日	
長 野 系 Cronble Buntified	3,386	3,269	6,655	
	2,874	2,507	5,381	
	3,124	2,738	5,862	

注 1 昭和 39 年 6 月 15 日播種  
2 施肥量 (kg/10a)  
(基肥だけ)  
尿素 25 過石 50 硫加 25  
3 密 度  
畦間 60 cm  
株間 15 cm 1 本立て  
(農林省畜試、千葉市)

牛乳生産費目割合 (%)

飼育労働費	22.4	購入給 自 給	34.2 21.5
資材畜力費	1.2		
飼 料 費	55.7	建 物 具 牛	1.6 2.2 13.4
價 却 費	17.2	賃 料 料 金	3.5
計	100		

物の能率的な栽培が出来ること面白いが、コロンブスグラスは翌春畦間にも多数萌芽するので、畦間に各作物がある場合に萌芽、生長がうまくいかどうか疑問である。

飼料成分についての資料は入手出来なかつたが、その草型からスーダングラスに近いものではなからうか。

農林省畜産試験場  
飼料作物第二研究室長  
農学博士

### 海外トピック

#### 一万トンサイロの出現

何でもデッカイことをやりたがる米國テキサスで一万トンスイロがつくられた。もつとも、サイロといえば塔型のものが想像されるが、これはトレンチサイロである。テキサスのある家畜会社が一たび大量のエンシレージを作るために丘の中腹にブルドーザで掘りあげたもので、一つは長さ二一〇呎で一萬二千ト入り、もう一つは一七五呎で一萬ト入りを言う。写真は、そのトレンチサイロに、ハイブリッドソルガムを刈りとって来たダンブカーが、原料をあけているところで、中央のブルドーザが、ならしながら踏圧している。このトレンチは囲いもなく、側壁は掘上げるとき押しかけたただけ、底はやや傾斜して水分を流すようになっている。覆もないが、醗酵は塔型サイロと変わりなくよく出来たという。ロスも多いことだろう

が人件費の高い、いかにもアメリカらしいスケールである。

